



ちかっ



★教育目標★

志高く、確かな目標をもち、
自己を磨く、しなやかな子どもの育成

文責：校長 鈴木雅人

明日は「学習発表会」

スローガン：「感動と笑顔の花を咲かせよう！」

いよいよ明日は学習発表会です。スローガンは、6年生小濱彩心さんが考えたものです。一生懸命練習して自分たちの思いを伝えようとする子ども達にとって、ぴったりのスローガンです。広い場所で、大勢の人に向かって表現するという事は、なかなか難しいことです。それでも子ども達は、一生懸命練習して、自分たちの姿を見てもらおうと頑張ってきました。それぞれの学年の個性や思いが垣間見えて、きっと楽しい時間になると思います。どうぞお楽しみください。

学習発表会では「ち・か・つ」の力から以下の姿をめざしています。

- ①「自分のよさを生かして、最後まで取り組む」(ちょうせんする力)
- ②「自分で考えたり、工夫したりして発表する」(かんがえる力)
- ③「お互いのよさを認め、励まし合う」(つながる力)
- ④「学んだことを生かしながら、自分の役割を果たす」(つなげる力)

これらの姿をめざして、一丸となって練習や準備に取り組みました。これらの力を発揮している姿が必ず見られるはず。どうぞその姿を見取り、ほめてあげてください。それでは明日、お待ちしております。

青少年の主張発表



6年生大竹晨陽さんが、棚倉町青少年の主張発表会で発表しました。「戦争の悲劇と平和を守る決意」と題して、堂々と発表してくれました。人の前で、自分の意見をしっかり伝えることのできるという、「つながる力」を発揮できました。

皆さんにとっての戦争とはどのような存在かという問いかけから始まり、戦争の歴史や戦争の悲惨さを、聞いたことを織り交ぜながら伝えていました。そして、「戦争の怖さや恐ろしさ」「平和を守る大切さ」を伝えながら「戦争を二度と起こさない」「平和を永遠に守り通す」という決意を力強く述べてくれました。いま世界各地で戦争や紛争が勃発していて、世界平和が遠のいています。そんな時代だからこそ説得力がありました。素晴らしい発表でした。

また、昨年度の卒業生、和知恒太郎さんも中学1年生代表として「僕たちの政治」という題で発表していました。近津の子ども達、頑張っています。



修明高校との交流

令和6年度超スマート社会を担う産業人材育成事業「専門教育魅力発信応援事業」という、えらく長いタイトルの県の事業として修明高校が行った小学生との交流に5・6年生が参加してきました。高校生の人材育成と、小学生の、専門性の高い高校教育に対する理解を深めるという、キャリア教育に関連したねらいがあります。子ども達は、プログラミング、焼き菓子づくり、農業体験、木工制作に分かれて体験をしてきました。高校生の専門性、凄さに感激していました。



○編集後記 (校長のつぶやき) ○学校にカボチャの顔が・・・

ハロウィンに合わせて中山本の甲賀一郎さんにご提供いただきました。昨年の敬老の日に続き今年もいただきました。子ども達は興味津々、楽しみました。地域の方のご協力ありがとうございます。○近津の山々も色づき始めました。紅葉の時期ですね。私が出勤時、国道に出るとき、遠く久慈川の向こうに一本の銀杏の木が見えます。これからの時期黄金色に色づきます。朝の澄んだ空気の中で緑に映えて見えます。きれいなんです。昨年初めて気づきました。見慣れた場所でもハッと気づくことってありますよね。皆さん、お気に入りの紅葉の場所ってありますか？ ○明日、体育館寒いです。寒くないようご用意を……。では、明日！